

革新的研究開発推進プログラム（ImPACT）終了時評価報告書（案）概要

- ・ ImPACTとは、**破壊的イノベーションを目指した挑戦的な研究開発制度**。
- ・ 目利き力のある研究者をPMに任命し、予算配分などの権限を付与。
- ・ 550億円の基金を造成、5年間(H26～H30年度)の事業を完遂。

【評価結果】

- ・ 16名のPMを採択、プログラムを推進。
- ・ 参加者の自己評価及び外部専門家の評価のいずれも、斬新で革新性のある研究開発が実現したと評価。
- ・ ベンチャー起業（15件）など、事業終了後も継続して発展。

<PM: Program Manager>

【今後の改善点】

- ・ 研究者のみならず幅広い人々の意見を取り入れて、野心的な目標を設定。
- ・ 海外研究者の取込みと国際連携を強化。
- ・ 課題に対しポートフォリオを構築、スモールスタートで成果に応じ資金配分するステージゲート方式を採用。

ムーンショット型研究開発制度に反映

【主な研究成果】

自動車のEV化を先取りする 軽量・強靱化ポリマー素材

しなやかタフポリマー



- ・ 車体構造用樹脂の剛性を維持したまま大幅に軽量化



伊藤 耕三
東京大学
大学院 / 教授

商用利用可能な小型高性能の XバンドSAR衛星システム

小型XバンドSAR衛星システム

【収納時】



【展開時】



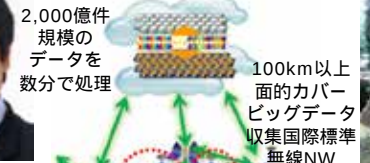
従来比1/10に小型・軽量化
製造コストを1/20以下に



白坂 成功
慶応義塾大
/ 教授

Society 5.0の実現に向けた サイバー空間形成の基盤技術

超ビッグデータプラットフォーム



原田 博司
京都大学
大学院 / 教授

医療政策立案に活用

西日本豪雨災害支援に活用